

# カンキツ新品種「夕焼け姫」導入によるミカン産地の活性化

～愛知県育成の新品種「夕焼け姫」の導入を機会とした産地活性化策のポイント～

栗田恭伸（東三河農林水産事務所農業改良普及課）

【令和2年10月30日掲載】

## 【要約】

カンキツ新品種「夕焼け姫」の導入と普及を図るための積極的な取組を通して、JAひまわりみかん部会の活動が活発化した。「夕焼け姫」だけでなく従来のミカンにも高品質栽培技術を導入した部会員も増えたことから市場評価も上がり、部会平均価格はここ数年上昇傾向にある。さらに、新品種の県内初出荷という情報を積極的にPRしたことで新しい市場の開拓にもつながった。

## 1 はじめに

JAひまわりみかん部会（会員数19人 面積2.6ha）は、産地規模が小さい上に西に蒲郡、東に三ヶ日の大産地に押されて、市場からの評価が得にくい状況であり、販売価格が安く、部会活動は停滞気味であった。このような状況を打開するため、部会長はじめJA、農業改良普及課は部会が活性化するための産地振興策を模索していた。そのような中、平成23年に部会で実施した愛知県農業総合試験場（以下、「試験場」）への視察において、果皮が赤く11月中旬に出荷できる新系統（現在の「夕焼け姫」）の情報を得て、他産地との差別化を図る品種として導入する気運が高まった。

部会では、これまで「夕焼け姫」の導入により①部会活動の活性化②みかん全体の価格の向上③「夕焼け姫」による産地のPR、を図るために様々な活動に取り組んできた。ここではその活動内容を紹介する。

## 2 活動内容

### （1）展示ほの設置

平成24年、「夕焼け姫」の特性を周知するため優良農家に本品種の展示ほを設置した。また、部会員の関心が続くよう試験場への視察を毎年行った。

### （2）試食アンケートの実施

平成25年、「夕焼け姫」の消費者評価を知るため、直売イベントの参加者を対象に試食アンケートを実施したところ、果皮色・甘味ともに多くの方から高評価が得られ、この結果を部会員に伝えた（図1）。

平成27年、産地導入指針（図2）を作成し説明会を開き、部会員へ本品種の導入推進を図った結果、部会への導入が決まった。

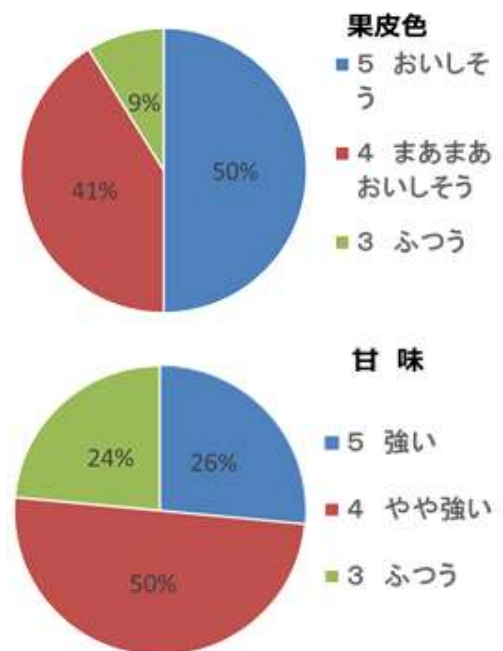


図1 「夕焼け姫」試食アンケート結果  
（場所：JAひまわり東部農協まつり）

### (3) 高品質栽培技術の確立と普及推進

平成 27 年には、優れた外観に見合った味を確保するため、マルチ栽培や適正着果量、植物成長調節剤の試験を実施し高品質栽培技術の確立を目指した。効果が認められた技術は栽培講習会で普及推進を図った。

栽培講習会は、優良農家の展示ほで実施し、優れた技術に部会員が触れる機会が増えるよう配慮した。

### (4) 「夕焼け姫」の面積拡大

平成 28 年に苗木の導入を開始し、併せて県内初出荷を目指し、早期に結実する「高接ぎ」栽培を積極的に推進した。「高接ぎ」の効果は高く、出荷まで通常 5 年かかるところを 3 年と大幅に短縮することができた (図 3)。

### (5) みかん部会と「夕焼け姫」を P R

これらの取組の結果、平成 30 年に県内初出荷を果たした。その際、「JAひまわりみかん部会」を P R するため、テレビや新聞等のマスコミへ積極的に声かけを行った (図 4)。

## 3 結果

- (1) 「夕焼け姫」の導入をきっかけに、栽培講習会は年 2 回から年 6 回に増え、参加者も増えていき栽培技術も向上した。
- (2) 初出荷の「夕焼け姫」が、660 円/1kg という高値で取引されたことで導入意欲が高まり、令和 2 年までに 7 名で 316 本の苗木が導入された。
- (3) 「夕焼け姫」で進めたマルチ栽培等の高品質栽培技術は、従来のミカン栽培へも導入が進み、部会全体で高品質化が図られた結果、部会平均価格は 221 円/kg (平成 23 年比 99%増) まで上昇した (図 5)。
- (4) テレビ・新聞等で産地 P R ができたことで、新規に取引を希望する小売業者や卸売市場からの声かけが増えた。

新品種  
**「夕焼け姫」をつくろう**

**指針の目的** 愛知県育成の「夕焼け姫」は早実が赤く、酸度が低い。JAひまわりみかん部会では、産地に主産地産地化を進めるため導入指針を作成しました。

**夕焼け姫とは**  
愛知県育成のカンキツ。ウンシュウミカンではない。11月中旬に完全着色。糖度 11、酸 0.8%になる。果実は赤く、消費者の関心・期待が高い。試食での評価が高い。

外観に見合った食味を得るために  
マルチ栽培との組み合わせで普及を図る。

**導入効果**  
「宮川早生」よりも早く出荷できます。果実が赤く目立つので関心を引きます。色が良く顧客用需要が考えられます。

**栽培適地**  
日当たりの良いこと  
土壌は高層が多く保水性、排水性が良いこと。  
地下水位が低いこと。  
できれば灌水施設があること。

平成 30 年 2 月 10 日  
「夕焼け姫」として品種登録

図 2 産地導入指針 (抜粋)



図 3 高接ぎをするみかん部会員



図 4 「夕焼け姫」の収穫を撮影するテレビ局

#### 4 まとめ

部会とJAひまわり、農業改良普及課が緊密な連携を取りつつ活動したことで成果が上がった。また、試験場による「夕焼け姫」の現地適応性試験にいち早く参加するとともに、試験場への継続的な視察や産地導入指針作成等により産地全体の導入意欲を高めるよう働きかけたこと、栽培技術の高い農家で「夕焼け姫」の展示ほを設けたことも効果的であった。

さらに「夕焼け姫」で進めたマルチ栽培等の高品質栽培技術の効果が理解され、従来のミカン栽培にも波及し産地全体の収益向上につなげることができた。

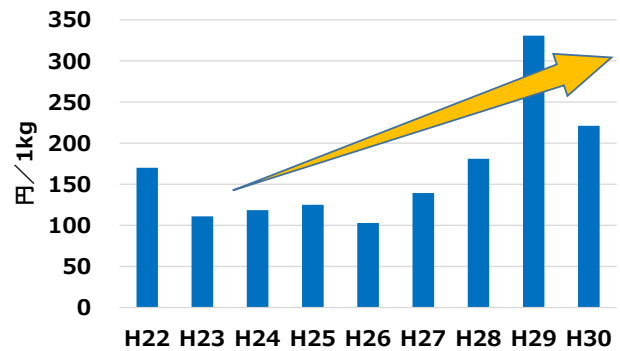


図5 ミカン1kg当たり部会平均価格の推移

Copyright (C) 2020, Aichi Prefecture. All Rights Reserved.

～農業に役立つ情報をお届けします！～

「ネット農業あいち」 (<https://www.pref.aichi.jp/nogyo-keiei/nogyo-aichi/index.html>)